



平成 30 年 10 月 16 日

各 位

上場会社名 株式会社 大 谷 工 業
 代表者 代表取締役社長 鈴木 和也
 (コード番号 5 9 3 9)
 問合せ先責任者 理事管理グループ マネージャー 中澤 忠彦
 (TEL 0 3 - 3 4 9 4 - 3 7 3 1)

平成 31 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 5 月 15 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値の修正 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,060	140	140	100	128.33
今回発表修正 (B)	2,944	85	87	63	80.85
増 減 額 (B - A)	△116	△55	△53	△37	—
増 減 率 (%)	△3.8	△39.3	△37.9	△37.0	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	2,868	174	176	137	176.45

修正理由

第 2 四半期累計期間における業績予想につきましては、セグメント別売上高として、建材部門は国内の都市整備、インフラについて取組が進んでおりますが、建築資材の供給遅延等があり大型ビル建設物件が先送り傾向であります。また、電力通信部門の架線金物は電力業界の販売価格、物量ともに下落し、通信業界においても設備投資抑制が継続した状況下で減収となりました。

利益面については、鋼材の値上りの価格転嫁が遅れており、さらに物量減少に伴う工場稼働の低下により、営業利益、経常利益及び四半期純利益は前回発表予想を下回る見通しとなりました。

通期の業績予想につきましては、新規得意先の開拓による売上高増加、徹底したコスト削減を行うことで利益改善を見込んでおり、前回予想を据え置いておりますが、今後の経営環境及び受注状況等を注視し、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに公表いたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上